

社 会 ・ 地 理 歴 史 ・ 公 民

1 これからの社会科・地理歴史科・公民科教育について

- 社会的事象に関心をもって多面的・多角的に考察し、公正に判断する能力と態度を養い、社会的な見方や考え方を成長させることを一層重視する。
- 習得すべき知識、概念の明確化を図るとともに、コンピュータなども活用しながら、地図や統計など各種の資料から必要な情報を集めて読み取ること、社会的事象の意味、意義を解釈すること、事象の特色や事象間の関連を説明すること、自分の考えを論述することを一層重視する。
- 我が国の国土や歴史に対する愛情をはぐくみ、日本人としての自覚をもって国際社会で主体的に生きるとともに、持続可能な社会の実現を目指すなど、公共的な事柄に自ら参画していく資質や能力を育成することを重視する。

2 全面実施に向けて、各学校において取組が求められること

小学校

- 移行期間に先行実施する内容の指導計画、教材・教具等の開発・準備
 - ・ 「我が国における自分たちの県の地理的位置、47都道府県の名称と位置」(平成22年度の第3・4学年)
 - ・ 「県内の特色ある地域の人々の生活(自然環境、伝統や文化などの地域の資源を保護・活用している地域)」(平成23年度に第5学年になる学年)
 - ・ 「世界の主な大陸と海洋、主な国の名称と位置、我が国の位置と領土」(平成22年度の第5学年)
 - ・ 地球儀、世界地図や日本地図の準備
- 全面実施に向けた各学年の年間指導計画の作成、教材、教具等の開発・準備

中学校

- 新学習指導要領に対応し3年間を見通した指導計画の立案
 - ・ 平成22年度の第1学年並びに平成23年度の第1学年及び第2学年の各分野の授業時数
 - ・ 平成23年度の第1学年の社会のうち地理的分野の指導内容
- 動態地誌的な学習による「日本の諸地域」の教材開発(地理的分野)
- 学習内容の焦点化を踏まえ導入・まとめを重視した教材開発(歴史的分野)
- 「現代社会の内容をとらえる見方や考え方」を生かした教材開発(公民的分野)
- 持続可能な社会を形成するという観点から課題を探究させるために必要な指導計画の立案と教材開発(公民的分野)

高等学校

- 新学習指導要領に対応した各科目の年間指導計画の立案
- 新学習指導要領の学習内容による指導案の作成
- 言語活動の充実を目指した単元構成、指導案に関する先行実施例や参考資料の収集・整理
- 「(1) 私たちの生きる社会」に関する教材の開発(現代社会)
- 「(3) イ 現代の諸課題と倫理」に関する教材の開発(倫理)
- 法や金融に関する教材の開発(政治・経済)

3 社会科・地理歴史科・公民科における言語活動の充実

- ・ 観察・調査や資料活用を通して必要な情報を入手し的確に記録する学習、それらを比較・関連付け・総合しながら再構成する学習、考えたことを自分の言葉でまとめ伝え合うことによりお互いの考えを深めていく学習を重視する(小学校)。
- ・ 社会的事象の意味、意義を解釈する学習や事象の特色や事象間の関連を説明するなどの学習を充実させる(中学校)。
- ・ 各種の統計、年鑑、白書、新聞、読み物、地図その他の資料を収集、選択し、それらを読み取り解釈すること、観察、見学及び調査・研究したことを発表したり報告書にまとめたりすることなどの学習を取り入れる(高等学校)。

4 思考力・判断力・表現力等の育成のための授業改善例

【小学校 第4学年】

学習活動	指導上の留意事項	評価規準（評価方法）
<p>1 本時の学習内容の確認</p> <p>○ 本時のめあてを知る。</p>		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">北広島町のキャッチフレーズを考えよう。</div>	
<p>2 既習事項の整理</p> <p>○ 壬生の花田植について調べたり、聞き取ったりした内容を整理する。</p> <p>○ 自分でまとめたことを発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 事前にまとめ方を示し、ノートに整理させておく。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><北広島町></p> <ul style="list-style-type: none"> ★北広島町の場所（地図） ★北広島町の様子 <p><壬生の花田植></p> <ul style="list-style-type: none"> ★歴史・いつから ・何のために <ul style="list-style-type: none"> ・祖父や祖母の頃の様子 ★現在・いつ頃 ・誰が ・何のために <ul style="list-style-type: none"> ・問題点 ・願い … </div>	<div style="border: 1px solid gray; border-radius: 50%; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p style="text-align: center; color: white; background-color: blue; border-radius: 50%; display: inline-block;">教</p> <p>整理するために必要な観点及び情報の整理の仕方（表、グラフ、分布図、年表等）は繰り返し指導する。</p> </div>
<p>3 北広島町のキャッチフレーズを考える。</p>	<p>北広島町は</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>伝統芸能を大切にして、人々が生き生きと生活できるようにしている町</p> </div> <p>理由： 若い人が少なくなったり、田んぼで牛を使わなくなったりして花田植ができなくなりそうな時があったけど、みんなが協力して、花田植を守って、ユネスコの世界無形文化遺産に推薦されるようになったからです。また、そのことを生かして、もっとたくさんの人に來てもらおうとしているからです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ペアで交流し、自分と同じところ、違うところをノートに書かせる。 机間指導を行い、指名して発表させる。その際、個別の事象のみをとらえたものから、より総合的にとらえたもの、人々の協力やまちづくりに焦点が当たっているものになるよう順に指名する。 	<div style="border: 1px solid gray; border-radius: 50%; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p style="text-align: center; color: white; background-color: blue; border-radius: 50%; display: inline-block;">考 表</p> <p>なぜ、そのようにまとめたかを、これまでの学習内容を踏まえて説明させる。</p> </div>
<p>4 本時のまとめ</p> <p>○ 北広島町はどんな町かノートにまとめる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center; font-weight: bold;">ことばの力活用POINT</p> <p>根拠、事象相互の関連、比較、を意識させる。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> これまでの学習、友達のキャッチフレーズなどを踏まえて、具体的な事実をもとにノートにまとめさせる。 自分たちの住んでいる市（町）との比較の視点も入れ考えさせる。 数名を指名し発表させる。 地域の特色の学習であることに留意してまとめる。 	<div style="border: 1px solid gray; border-radius: 50%; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p style="text-align: center; color: white; background-color: blue; border-radius: 50%; display: inline-block;">考</p> <p>既習の内容や他の児童の意見と比較・関連付けて考えさせる。 一面的でなく、総合的に考えさせる。</p> </div>
<p>5 次時の予告と課題の確認</p> <p>○ 次時は熊野町について学習することを知らせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 熊野町の位置を必ず調べておくこと、これまでの学習を踏まえ、位置以外に熊野町に関する情報をたくさん集めておくという課題を示す。 	<p>「思考・判断」</p> <p>北広島町が、人口減少や後継者不足などの問題を抱えながらも、伝統や文化を受け継ぎ、それらを活用しながら人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めている地域であることを考えまとめている。（ノート）</p>

【中学校 第2学年】

本時の目標ー 学習した内容を活用してその時代を大観し表現する活動を通して、近世の特色をとらえさせる。 ※新学習指導要領 内容(1)

教

学習活動

指導上の留意事項

整理するために必要な観点及び情報の整理の仕方(年表、地図の活用、関係図等)は繰り返し指導する。

1 本時の学習内容の確認

- 本時のめあてを知る。

近世の日本の特色を「歴史大観表」に整理しよう。

2 既習内容の整理

- 既習内容を観点別に年表に整理する。

	政治	産業	社会	外交	文化
16	全国統一 太閤検地・刀狩	楽市・楽座	兵農分離	南蛮人の来航 朝鮮侵略	キリスト教伝来 桃山文化 南蛮文化
17	江戸幕府の 成立 鎖国		身分制度 都市の繁栄	朱印船貿易 長崎貿易 朝鮮通信使	元禄文化
18	享保の改革 田沼の政治 寛政の改革	農村工業の 発達	百姓一揆 株仲間	外国船の接 近	国学・蘭学

3 学習内容の関連付け

- 関連付けられる内容を線で結ぶ。

- ・ これまでの学習で「歴史大観表」にまとめてきた観点で整理させる。
- ・ 学習した用語で記入させる。

4 中世との比較

- 中世との比較を行う。

- ・ 表をもとに相互に関連していると考えたものを線で結ばせ、特色を示すキーワードとなりそうな語句を枠で囲ませる。
- ・ 前単元で整理した中世の年表と比較し共通点や相違点をノートに書かせる。

考 表

なぜ、そのようにまとめたのかを、学習内容相互の関連や他の時代との共通点や相違点を踏まえて説明させる。

5 近世の特色をまとめる

- 近世の特色を簡潔にまとめる。

ことばの力活用POINT

関連付け(因果関係)比較(共通点、相違点)根拠を意識させる。

近世は

武士の支配が確立し、内乱のない安定した社会が続いた時代

なぜなら、全国が統一され、幕藩体制、鎖国、身分制の確立で、徳川の時代がずっと続いたからです。大名同士の争いや外国との争いも徳川の時代にはなくなったのが中世と違います。だから、産業が発達し、すぐれた文化や学問も発達したのだと思います。

- ・ まとめにくい生徒には、政治の中心となった人物を手がかりに中世と比較するよう指示する。
- ・ それぞれの事象を因果関係等で関連付けたり、中世との比較をしたりしているものをしっかり評価し、板書する。

「思考・判断」

近世の特色を、政治、産業、社会、外交、文化の各側面の内容との関連付けや、中世との比較をもとに考え、総合的にまとめている。

(発言内容・ノート)

6 意見を交流する。

- お互いの意見を交流する。

7 「歴史大観表」へ記入

- 出た意見をもとに記入する。

時代	世紀	特色	人物・文化
中世	10C後 ~16C末	天皇・貴族と武士の争いの中で、武士が力を握っていった時代	
近世	16C末 ~19C前	武士の支配が確立し、内乱のない安定した社会が続いた時代	

8 次時の予告と課題の確認

- 次時は近代という時代について学習することを知らせる。

- ・ 生徒の意見を生かしながら、教師がまとめ、ノートに記入させる。

- ・ 次章にある銀座の様子を伝える錦絵を見て、近世の様子と違っているものをノートに書いてくるように指示する。

【高等学校 地理歴史科 地理】

本時の目標 — 内発型工業地域の地域性をとらえる地理的な見方を習得し、他の工業地域の地域性を説明することができる。

学習活動	指導上の留意事項	評価規準（評価方法）
<p>1 本時の目標の提示</p> <p>賃金が高い先進国の工業地域で成長している工業地域があるのはなぜか。</p> <p>○ 本時の学習テーマの確認</p> <p>2 なぜサードイタリーと呼ばれる工業地域は成長を遂げているのか、その理由を考察する。</p> <p>○ どのような業種で成長しているのか調べる。</p> <p>○ どのような生産形態の特徴があるのか考える。</p> <p>○ 具体的にどのように製品をつくっているのか調べる。</p> <p>3 なぜシリコンバレーは成長を遂げているのか</p> <p>○ サードイタリーと同じことがシリコンバレーでもいえるのか、予測して調べ、発表する。</p> <p>ことばの力活用POINT 複数の事例を比較しながら共通性・相違性を整理して発表させる。</p> <p>4 まとめ</p> <p>○ 日本の生産拠点が海外進出し産業の空洞化が起こっている地域と比較し、どのような違いがあるのか、予想する。</p> <p>○ 中国や東南アジアの経済特区や輸出加工区の工業地域と比較し、どのような違いがあるのか、予想する。</p>	<p>・ 日本の工業における生産拠点の海外移転と産業の空洞化の事実を確認させる。</p> <p>・ サードイタリーの工業生産額の推移から成長している事実を確認させる。</p> <p>・ 資料を提示し、資料から読み取らせる。</p> <p>・ 製造する商品の特徴から、どのように生産される商品か、生産形態を消費の動向に着目させて考えさせる。</p> <p>・ 生産形態が対照的な、生徒に身近な商品を例に挙げて比較し、イメージしやすいよう工夫する。</p> <p>・ 一人の製造企業経営者の人物を通して、製品が開発・製造されるまでの過程を具体的に示す資料を提示して読み取らせ、どのような特徴があるか、考えさせる。</p> <p>・ 同地域内の同業者との間で蓄積してきた人的結びつき（ネットワーク）を介して、知識や経験が有機的に学習によって結び付き、新製品の開発・製造につながるという内発型工業地域の見方を説明する。</p> <p>・ シリコンバレーの工業生産額の推移から成長している事実を確認させる。</p> <p>・ 資料を提示し、資料から読み取らせる。</p> <p>・ サードイタリーとシリコンバレーに共通していえることと、相違点を見つけ出し、習得した知識を活用して、シリコンバレーの地域性を説明させる。</p> <p>・ 次時の予告として発問して、予想させる。</p>	<p>「技能・表現」 各種の資料について、発問に基づいて的確に資料を読み取っている。（行動観察、ワークシート）</p> <p>教 地理的な見方は、典型的な事例教材を取り上げ、じっくりと生徒に考察させた上で扱う。</p> <p>「知識・理解」 工業地域の地域性をとらえる「内発的な学習地域」という一つの地理的な見方を習得している。（行動観察、ワークシート）</p> <p>考 各地域を比較することで、共通性や相違性を見つけ出す視点を押さえる。</p> <p>「思考・判断」 ・ 習得した知識を活用している。 ・ サードイタリーの地域性をとらえた視点とシリコンバレーの状況とを関連させて自分なりに解釈している。（発表内容）</p> <p>表 学習した内容を活用して、地域性をとらえる視点と現状を関連させて、分かりやすく発表させる。</p> <p>「技能・表現」 自分の立てた予想について、習得した知識を活用してわかりやすく説明している。（ワークシート）</p>

【高等学校 地理歴史科 日本史B 第3学年】

本時の目標 — 中国の冊封体制という歴史的な見方を習得し、各時代の日本と中国との違いを説明することができる。

学習活動	指導上の留意事項	評価規準（評価方法）
<p>1 本時の目標の提示</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">原始・古代から近世までの日本と中国との関係に違いがあるのはなぜか。</p> <p>○ 本時の学習テーマの確認</p> <p>2 中国との関係はどのように変化したのか</p> <p>○ なぜ倭の小国は中国に使いを送ったのか、その理由を考察する。</p> <p>○ 宋に朝貢したのはなぜか、その理由を考察する。</p> <p>○ これまでの中国に使いを送る倭国のねらいは何か、その理由を考える。</p> <p>○ どのような考え方で遣唐使を派遣したのか、考える。</p> <p>○ 日本で武士が台頭する平安から鎌倉時代は、中国とどのような関係にあったか、調べる。</p> <p>○ 国交がなかった時代が終わり、どのような形で中国との関係が開かれたのか調べる。</p> <p>3 なぜ義満は冊封体制に組み込まれたのか</p> <p>○ 義満の冊封体制受け入れに周囲の批判があったにもかかわらず、なぜ義満は正式に冊封体制に組み込まれたのか、予想して発表する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ことばの力活用POINT</p> <p>複数の事例を比較しながら共通性、相違性を整理して発表させる。</p> </div> <p>4 まとめ</p> <p>○ 足利義満は日本の歴史でどのようなきっかけになったのかについて、予想する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中国との交流の歴史的事実を確認させる。 ・ 当時の小国分立の時代状況に着目させ、倭国の王の中国との交流のねらいを考えさせる。 ・ 当時の朝鮮半島にある資源分布に着目させ、宋に朝貢した目的を考えさせる。 ・ 当時の状況にあって自分が国王の立場だったら、どのような理由から中国に朝貢するだろうか、考えさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>冊封体制という歴史的な見方を説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外交上の関係性（支配・従属の関係か、同盟関係か、敵対関係か。） ・ 両国の関係性の具体的な内容 ・ 両国の関係性を保つ方法 等 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中国の皇帝にあてた国書の資料を取り上げて考えさせる。 ・ 両国の関係を、政治的な視点と経済的な視点から考えさせる。 ・ 資料を提示して調べさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>各時代の日本と中国との関係を比較することで、共通性や相違性を見付け出し、習得した知識を活用して、中国・朝鮮半島との交流は日本の当時の政治の考え方で異なることを具体的に説明させる。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 天皇の政治的権力等、当時の内政状況に着目して考えさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>これまで冊封体制に組み込まれる関係をとった時代ととらなかった時代の立場を比較し、義満の内政における政治的立場はどうだったのかという視点で説明させる。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次時の予告として発問して、予想させる。 	<p>「知識・理解」</p> <p>中国の周辺国との関係の作り方の一つ「冊封体制」という歴史的な見方を習得している。（行動観察、ワークシート）</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin: 10px 0; width: fit-content;"> <p style="text-align: center; color: white; background-color: #0056b3; border-radius: 50%; width: 20px; margin: 0 auto;">教</p> <p>歴史的な見方は、典型的事例教材を取り上げ、じっくりと生徒に考察させた上で扱う。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin: 10px 0; width: fit-content;"> <p style="text-align: center; color: white; background-color: #0056b3; border-radius: 50%; width: 20px; margin: 0 auto;">考</p> <p>各時代の日本と中国との関係を比較することで、共通性や相違性を見付け出す視点を押さえる。</p> </div> <p>「思考・判断」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 習得した知識を活用している。 ・ 当時の歴史的状況と関連させて自分なりに解釈している。（ワークシート） <p>「技能・表現」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の立てた予想について、当時の歴史的状況からわかりやすく説明している。（発表内容） <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin: 10px 0; width: fit-content;"> <p style="text-align: center; color: white; background-color: #0056b3; border-radius: 50%; width: 20px; margin: 0 auto;">表</p> <p>学習した内容を活用して、当時の政治的状況と関連させて、分かりやすく発表させる。</p> </div>

【高等学校 公民科 現代社会】

本時の目標 — 租税の効率的な投資の在り方を、多角的に考察することができる。

学習活動	指導上の留意事項	評価規準 (評価方法)												
<p>1 学習内容の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 目標を確認する。 														
<p>租税の効率的な投資とはどのようなものかを、多角的に考察できる。</p>														
<p>2 財政のしくみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 財政のしくみを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ わが国の平成 22 年度一般会計予算を基に財政のしくみを理解させるとともに、国民生活との関連を考察させる。 	<p>教</p> <p>資料を用いて、財政のしくみを説明する。</p>												
<p>発問：あなたは、社会保障関係費、公共事業費、文教及び科学振興費、防衛関係費、地方交付税交付金等のうち、どの経費を増額もしくは減額させたいと思いますか。具体的な政策を基に考えてください。</p>														
<p>3 問題の把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 多様な観点から租税の効率的な投資の在り方を考える必要があることを把握する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般会計歳出の主要経費を増額もしくは減額させることにより、多様な観点から租税の効率的な投資の在り方を考える必要があることに気付かせる。 	<p>考</p> <p>主要経費増額のメリットとデメリット及び課題への対応策を、様々な観点から考察し、ワークシートに記入させる。</p>												
<p>4 租税の効率的な投資の在り方の考察</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 租税の効率的な投資の在り方をグループで考察する。 	<p>グループ学習 (4 人ずつ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会保障関係費、公共事業費、文教及び科学振興費、防衛関係費、地方交付税交付金等のうち一つを選び、経費を増額させる場合のメリットとデメリット及び課題への対応策について具体的な政策を基に考えさせ、ワークシートに記入させる。 													
<p>【ワークシート】 公共事業 (具体的な政策：高速道路の建設)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>検討項目</th> <th>メリット・デメリット</th> <th>課題への対応策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>物流</td> <td>物流の活性化, 交通事故の増加</td> <td>安全運転に対する意識の啓発</td> </tr> <tr> <td>建設費用</td> <td>建設費用の返済</td> <td>通行料金の見直し</td> </tr> <tr> <td>環境への影響</td> <td>騒音, 廃棄ガスの増加</td> <td>クリーン技術の開発</td> </tr> </tbody> </table>			検討項目	メリット・デメリット	課題への対応策	物流	物流の活性化, 交通事故の増加	安全運転に対する意識の啓発	建設費用	建設費用の返済	通行料金の見直し	環境への影響	騒音, 廃棄ガスの増加	クリーン技術の開発
検討項目	メリット・デメリット	課題への対応策												
物流	物流の活性化, 交通事故の増加	安全運転に対する意識の啓発												
建設費用	建設費用の返済	通行料金の見直し												
環境への影響	騒音, 廃棄ガスの増加	クリーン技術の開発												
<p>「思考・判断」 経費増額のメリットとデメリット及び課題への対応策を、様々な観点から考察している。 (ワークシート, 発表)</p>														
<ul style="list-style-type: none"> ○ グループで話し合った内容を、根拠を示して発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループごとに発表した内容に対して、他のグループから質問や意見を出させる。 	<p>表</p> <p>考察した過程や結果を、分かりやすく発表させる。</p>												
<p>ことばの活用POINT 根拠となるデータや理論を提示させ、発表させる。</p>														
<p>5 本時のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の復習 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の学習活動をレポートにまとめ、提出させる。 													